

令和4年度第4回半田市子育て支援事業検討プロジェクト会議議事録

開催日時	令和5年2月17日(金)	13時00分～15時00分
開催場所	クラシティ 3階 ミーティングルームA	
会議次第	1 私の考える「半田市に行ってほしい子育て支援」 2 その他	
出席委員	(委員) 市民委員5名、市職員委員3名	
出席職員	子ども育成課副主幹 榊原 秀夫      子ども育成課書記 豊田 祐輔 子育て相談課保健師 今井 美里	
	議事概要	
	<p>1 私の考える「半田市に行ってほしい子育て支援」</p> <p>事務局で、第2・3回の会議における委員からの意見をまとめたものの中から、更に「事業化に向けた提案」と「事業化ではなく改善を求める意見」に整理した。今回の会議で、これまでに出了された意見のブラッシュアップと新しい意見があれば出していただき、具体案を提言していく内容に精査する。</p> <p>&lt;委員からの意見&gt;</p> <p>●事業化に向けた提案</p> <p>1.未就園児を気軽に預けることのできる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童センターで気軽な一時預かりができるといい。</li> <li>・児童センターは普段行き慣れており親も子も安心。</li> <li>・保護者アンケートを実施し、必要な時間帯や条件等のニーズを把握する。</li> </ul> <p>2.未就園児の親子が、気兼ねなく食事をするところができる場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童センターで、昼食がとれて、朝から途切れることなく過ごせる場所になるといい。</li> <li>・事業化に向けた提案というよりは、すぐに取り掛かれる内容ではないか。</li> <li>・児童センター以外の公共施設でも食事ができるようになるといい。</li> </ul> <p>3.未就園児の遊び場として、噴水付きの水遊び場の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤レンガや新美南吉記念館が望ましいのではないか。</li> <li>・もちろんあるといいが、他の子育て支援策より優先度は低いのではないか。</li> </ul> <p>4.小学生にリュック等の通学用かばんの支給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町の取り組みを調べたところ、株)モンベルと富山県立山町で共同開発した「わんパック」を支給する事例があったため、参考にできるといい。</li> <li>・子どもの負担を減らしてあげたい。また、親の購入費用の負担軽減にもなる。</li> <li>・貧困家庭にも配慮し、一律に支給されるといい。</li> <li>・令和6年度事業化として提言した場合に、対象者をどのように絞っていくのか。</li> </ul>	

<p>5.託児、講座、検診などもでき、雨の日は屋内で体を動かして遊べ、天気が良ければ外で遊べる公園があるような複合施設の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武豊町に避難所を兼ねた大きい公園が建設中だが、そこは屋根がついており、フットサル等ができるようになっている。市内のどこかの公園に屋根がつけば、ちょっとしたボール遊びもできる。例えば、雁宿公園はどうか。</li> <li>・令和6年度事業化は難しいが、これまでの会議や委員の意見を踏まえると、必要ではないかと思う。</li> <li>・各地域にある公民館を雨の日に開放したり、空き時間に使用できるといい。</li> <li>・今後、市の公共施設の建て替えや、半田病院の跡地等に何かを建てようという話が出てきた際に、複合施設を話の舞台に挙げていくような働きかけができるといい。</li> </ul> <p>6.オーガニック給食の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何にどのくらいかかるのか、予算の試算が必要。</li> <li>・「無添加」とう方向でもいいのではないか。添加物を気にしている親は多いと思う。</li> <li>・アレルギーのあるお子さんに対しても改善されるといい。</li> <li>・給食の一部からでもオーガニックや地産地消にできるといい。</li> </ul> <p>●人づくりにつながる子育て支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、何かの一流の人をお招きするのはどうか。半田市出身で中日ドラゴンズの石川昂弥選手等。例えば、次の年は音楽関係の方等。</li> <li>・一流の人にふれる機会を作ってあげることもそうだが、一流の人になっていくために、どういった環境が望ましいのか、環境作りから始めたほうがいい。</li> <li>・職業体験のような形で、あまり見たことのない職種の方をお招きし、実演してくれたり、実際に子どもが体験できると、子どもの将来の選択肢や視野が広がるのではないか。他市町ではやらないような、見えないような、そんな取り組みがあるといい。</li> <li>・障がい児や医療的ケア児とふれあえる環境や、交流ができる場があるといい。</li> <li>・子どもの頃から生の演奏を聴かせてあげるといいのではないか。市役所のロビーコンサートに参加したが、子どもが圧倒され、聴き入っていた。音楽は、置かれた家庭環境によって格差があると思う。</li> <li>・この会議体のように、子育て支援策を実際に必要とされている方々の声を聞き、意見を吸い上げるような仕組みや場は今後も継続したほうがいい。行政と市民が共に子育て支援策を作っていけるといい。</li> </ul>
---